

子ども・若者に もっと人と予算を

学童保育 10月から父母会運営から(株)シダックスの「指定管理」に。

4月からの学童保育予算は4589万円

■学童保育は、「指定管理」には向かない仕事です。

「指定管理」には、一定期間、町の仕事を民間に引き受けてもらう仕事です。

「指定管理」は事務の効率化ができる事業は、効果はあります。

■人と接する福祉事業では、民間の利益は人件費を安く抑えることが主になります。

■シダックスは、カラオケ事業から学童保育に参入することで経営が安定します。

■シダックスと町との契約は4年半です

指導員は、シダックス雇用になります。

指導員は、シダックスの社員か非正規雇用

父母会運営とシダックス経営の学童保育、
子どもにとってはどちらがいいかな??



子育ての人件費、抑えすぎです。

幼稚園・保育園の3~5歳児の保育料無償化は来年10月からと報道されています。

保育園も幼稚園も人が不足……命を守り育てる仕事…それなのに……給与が低い

■町立幼稚園では 3歳児保育をはじめてほしい。

教室は町立幼稚園内にあります。幼稚園の先生(人件費1000万円程)の雇用を

「3歳までは母親が育てる」考え方はやめてほしい。

■保育園(父母が働いている)では

保育園では、保育士さんが集まらない。

保育士さんがいないと保育はできない。

保育士さんの宿舍の補助を行います。(2018年・239万円)

■0・1・2歳のお子さんのための子育てひろば・らんまるの広場はできました。
職員は、非正規雇用で時間給ですから、嵐山町は、安上がりです。

■二人目、3人目を育てたいとおもうと、二人で働かなければ、
子育て費用は苦しい。そこをどのように支えていくか、町政の仕事です。



家でも学校でもない第3の子どもの居場所事業「b&g●●」

■学校終了後~夜8時半までと土曜日曜、家庭に大人のいる時間の少ない子どものための居場所事業がはじまります。

■日本財団の3年間全額補助事業(9000万円)で菅谷小学校の敷地を分筆して建設。

志賀小・七郷小の児童で希望者は送迎。

■戸田市・尾道市・尼崎市で始まりました。

本年度は施設建設。来年度から、事業が始まります。

2018年予算額 3787万円 施設建設費

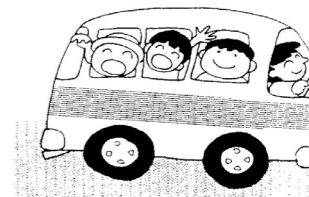


人生100年時代がやってきます。

■75歳以上人・妊産婦・障がいのある人へのタクシー補助券は実施効果がありました。が、それだけでは、間に合いません。

■高齢者の自動車事故がきがりです。

小中学校の遠距離通学
武蔵嵐山駅を利用する学生
嵐山町に電車でやってくる観光客
自動車免許を返納した高齢の人



いろいろな人が利用できるミニバスを動かそう。
朝夕は、スクールバスに、昼間は、高齢者等のための外出の足、土日は、観光客を中心に
時間帯に応じた運行で解決の方向に

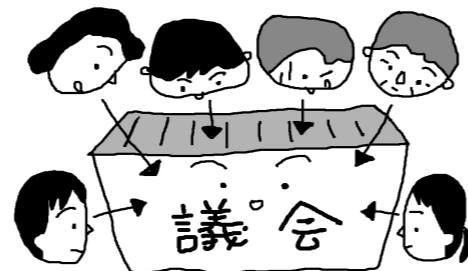
嵐山町議員、何人がいいでしょうか……議員のなり手がいないのです。

来年9月、議員選挙があります。2015年の議員選挙は無投票でした。

■議員定数等検討特別委員会を設置しました。

■町民の皆さんのアンケート・意見交換会では、ご意見の多くは、議員数の削減でした。

女性と若い人が議会活動に参加してもらえるといいのだけど。



人口減少・IT社会、時代に合った財政チェックを

議員のなり手不足の原因は

- ①議員報酬が低い(年間380万円)。「現在の仕事をやめて、議員選挙」はリスクが大きい。
- ②議員の仕事が見えていない。
- ③周囲の「議員」に対する視線が厳しい。

議員数 現在14名⇒11名+議会サポーター制度を提案します。

■議員報酬を400万円台にアップして

議会サポーター制度をテーマごとにつくる(サポーターは有償)

議会サポーターから将来は議員に立候補する方もいるかもしれない

■議案の議決は議員です。町政策は、町民の皆さんやサポーターと考える。

■IT社会です。情報収集・議論のあり方の工夫もします。